

ANA VISION 2018

第73回 定時株主総会決議ご通知 第68期のご報告(2017年4月1日～2018年3月31日)

■瞬時に世界中に移動できる「AVATAR」の事業化を目指す

東京都港区東新橋一丁目5番2号
ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長 片野坂 真哉

第73回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日開催の当社第73回定時株主総会におきまして、下記の通り報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項**
1. 第68期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第68期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は上記報告事項の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は原案通り承認可決され、期末配当金は1株につき60円とさせていただきます。

第2号議案 取締役10名選任の件

本件は原案通り承認可決され、取締役に伊東 信一郎、篠辺 修、片野坂 真哉、長峯 豊之、石坂 直人、高田 直人、平子 裕志、森 詳介、山本 亜土、小林 いずみの各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は原案通り承認可決され、監査役に小川 英治氏が選任され、就任いたしました。

以上

期末配当金のお支払いについて

第68期期末配当金は同封の「第68期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行本支店および出張所ならびに郵便局で、払渡期間内(平成30年6月29日(金)から同年7月31日(火)まで)にお受け取りください。

なお、お振込先をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しておりますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。また、株式数比例配分方式をご選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

※同封しております「配当金計算書」が「支払通知書」を兼ね、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけますので、お手元に保管願います。

全事業の業績向上に向け成長戦略を着実に実行します



ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長

片野坂 真哉

2018年6月

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年3月期は、主力事業の国際線旅客、国内線旅客、国際線貨物の各事業で旺盛な需要を確実に捉えた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも3期連続で過去最高を更新しました。

2019年3月期は、本年2月に発表した「2018～2022年度ANAグループ中期経営戦略」の初年度として、「エアライン収益基盤の拡充」「既存事業の選択・集中、新たな事業ドメインの創造」「オープンイノベーションとICT技術の活用」という三つの重点戦略を着実に実行し、当社グループの持続的成長を実現します。さらに、事業領域の拡大と収益の最大化に向け、LCC事業を担うPeach・Aviation株式会社(Peach)とバニラ・エア株式会社の2社を2020年3月期中に経営統合して路線ネットワークの拡充を図り、将来的には中距離路線も運航するアジアを代表するリーディングLCCへの飛躍を目指します。

そして、これらの成長戦略を推進すると同時に、「安全と品質・サービスを総点検する期間」の2年目である2019年3月期においても、すべての事業で「安全」を最優先に経営基盤の強化にしっかりと取り組みます。

今後も当社グループの全事業で収益力を向上させ、「財務基盤の維持」「成長投資の継続」「株主還元の向上」につなげ、グローバルエアライングループとして成長してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きANAグループにご期待いただき、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結業績報告

2017年4月1日～2018年3月31日

旺盛な航空需要による増収にPeachの収入も加わり、3期連続で最高益を更新

A 売上高、営業費用

●航空事業が好調であったこと、Peachの収入が加わったこと等により、前期から2,065億円増収となり過去最高の売上高に。事業規模の拡大に伴う費用増加のほか、Peachの費用も加わり、営業費用は前期から1,875億円増加。

B 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

●営業利益は1,645億円、経常利益は1,606億円、親会社株主に帰属する当期純利益はPeachの連結子会社化に伴う特別利益の計上もあり1,438億円となり、いずれも3期連続で過去最高を更新。

C 包括利益

●当期純利益の増加等により、前期から168億円増加。

D 資産

●航空機の取得に、Peachの連結子会社化に伴うのれんの計上等もあり前期末から2,480億円増加。

E 有利子負債残高

●借入金の返済の一方で、社債の発行等による資金調達を進めた結果、7,983億円に増加。

F 自己資本、自己資本比率

●自己株式の取得(699億円)を実施した中でも、利益剰余金の増加等により、自己資本は9,886億円に増加。自己資本比率は38.6%に。

G 設備投資

●航空機の取得等、3,047億円の設備投資を実施。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 億円)	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,370	3,160	789	33.3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,946	△ 3,244	△ 1,298	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	33	△ 299	△ 333	—
現金及び現金同等物期末残高	3,090	2,705	△ 385	—
減価償却費	1,403	1,504	100	7.2
G 設備投資(固定資産のみ)	2,544	3,047	502	19.8

※決算に関する資料は当社ホームページでもご覧になれます。

www.ana.co.jp/group/investors/

ANAホールディングス 株主・投資家情報 検索

●営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益



●連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位 億円)	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
【連結損益計算書】				
A 売上高	17,652	19,717	2,065	11.7
営業費用	16,197	18,072	1,875	11.6
営業利益	1,455	1,645	189	13.0
営業外収益	150	126	△ 24	△ 16.1
営業外費用	202	164	△ 37	△ 18.4
経常利益	1,403	1,606	202	14.4
特別利益	22	447	424	1,860.5
B 特別損失	31	87	55	173.9
税金等調整前当期純利益	1,394	1,966	571	41.0
法人税、住民税及び事業税	415	616	200	48.4
法人税等調整額	△ 14	△ 106	△ 92	—
当期純利益	993	1,456	463	46.7
非支配株主に帰属する当期純利益	4	17	12	264.8
親会社株主に帰属する当期純利益	988	1,438	450	45.6
(EBITDA)※1	(2,858)	(3,149)	(290)	(10.2)
【連結包括利益計算書】				
当期純利益	993	1,456	463	46.7
その他の包括利益	463	168	△ 294	△ 63.6
C 包括利益	1,456	1,624	168	11.6

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費

※金額は表示単位未満の端数を切り捨てています。

※前期は2016年4月1日～2017年3月31日、

当期は2017年4月1日～2018年3月31日です。

※前期末は2017年3月31日現在、当期末は2018年3月31日現在です。

●総資産、自己資本※2、自己資本比率



●連結貸借対照表

(単位 億円)	前期末	当期末	増減
資産の部			
流動資産	6,667	7,511	844
現金及び預金	608	780	172
受取手形及び営業未収入金	1,558	1,734	175
有価証券	2,579	2,795	215
商品	99	123	24
貯蔵品	549	501	△ 48
繰延税金資産	361	276	△ 84
その他	909	1,299	390
固定資産	16,471	18,108	1,636
有形固定資産	13,602	14,331	728
建物及び構築物	1,009	989	△ 19
航空機	10,077	10,279	201
土地	498	557	58
リース資産	84	72	△ 12
建設仮勘定	1,518	2,023	504
その他	413	408	△ 4
無形固定資産	890	1,552	662
投資その他の資産	1,978	2,224	245
投資有価証券	1,193	1,199	5
繰延税金資産	527	656	129
その他	257	368	110
繰延資産	5	4	△ 0
D 資産合計	23,144	25,624	2,480

※2 自己資本は純資産合計から非支配株主持分を控除しています。

※3 有利子負債残高にはオフバランスリース負債は含まれません。

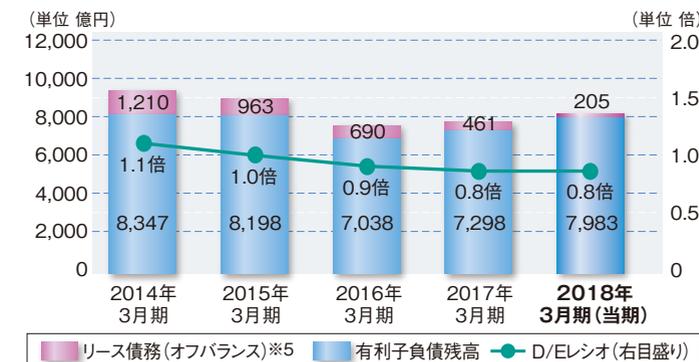
※4 D/Eレシオ=有利子負債残高÷自己資本

連結対象会社の状況(2018年3月31日現在)

・連結子会社 64社(新規1社)

・持分法適用会社 16社(除外1社)

●有利子負債残高※3、D/Eレシオ※4



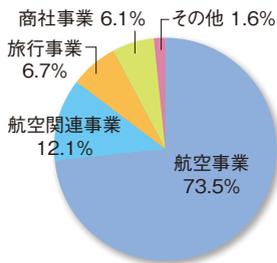
※5 オペレーティングリース等に係る未経過リース料 ※6 自己資本比率はポイントです。

	前期末	当期末	増減※6
負債の部			
流動負債	5,726	6,480	754
支払手形及び営業未払金	1,792	2,203	411
1年内返済予定の長期借入金	932	847	△ 85
1年内償還予定の社債	200	100	△ 100
その他	2,801	3,330	528
固定負債	8,175	9,138	962
社債	1,250	2,650	1,400
長期借入金	4,696	4,181	△ 514
退職給付に係る負債	1,567	1,567	0
その他	661	738	76
負債合計	13,902	15,619	1,716
E (有利子負債)※3	(7,298)	(7,983)	(685)
(D/Eレシオ(倍))※4	(0.8)	(0.8)	(0.0)
純資産の部			
株主資本	9,331	9,857	525
資本金	3,187	3,187	—
資本剰余金	2,832	2,682	△ 150
利益剰余金	3,348	4,577	1,228
自己株式	△ 37	△ 590	△ 552
F (自己資本)※2	(9,191)	(9,886)	(695)
(自己資本比率(%))	(39.7)	(38.6)	(△ 1.1)
その他の包括利益累計額	△ 140	29	169
その他有価証券評価差額金	206	244	38
繰延ヘッジ損益	△ 117	△ 34	83
為替換算調整勘定	33	32	△ 1
退職給付に係る調整累計額	△ 262	△ 212	49
非支配株主持分	50	118	68
純資産合計	9,241	10,005	763
負債純資産合計	23,144	25,624	2,480

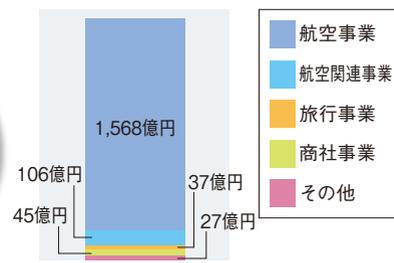
セグメント別の概況

2017年4月1日～2018年3月31日

●セグメント別売上高構成比*



●セグメント別営業利益*



*セグメント別売上高構成比・営業利益共にセグメント間の内部取引を含んでいます。

●セグメント別売上高と営業利益

■航空事業 (右ページをご覧ください)

- とりわけ国際線旅客、国際線貨物が好調。Peachの収入も加わり増収。
- 事業規模拡大とPeachの連結子会社化に伴う費用増はあったものの、営業利益は増益。



■航空関連事業

- 羽田空港や関西空港での地上支援業務の受託増加、物流事業の取り扱い増加等により増収・増益。
- 国際物流を担う株式会社OCSは需要増に対応するため、新たな物流拠点「東京スカイゲート」を9月に開設。



※金額・数量は、表示単位未満の端数を切り捨てています。
 ※前期は2016年4月1日～2017年3月31日、
 当期は2017年4月1日～2018年3月31日です。
 ※利用率・貨物重量利用率の増減率(%)は前期差(ポイント)を示しています。

■旅行事業

- 国内旅行は主力商品「ANAスカイホリデー」の集客伸び悩み等で減収。
- 海外旅行は主力商品「ANAハローツアー」のハワイ・北米向けが好調で増収。
- 全体では減収となったものの、費用を抑制した結果、前期並みの利益水準を維持。



■商社事業

- リテール部門は空港免税店「ANA DUTY FREE SHOP」や空港物販店「ANA FESTA」が好調で増収。
- 航空・電子部門は半導体の取扱高が増加。
- 食品部門は主力商品のバナナの取扱高が減少。



■その他*

- 不動産関連事業や航空保安警備事業が堅調に推移し、増収・増益。

*不動産・ビルメンテナンス、航空保安警備、人材・ビジネスサポート、シンクタンク等の事業で構成。



■航空事業

国内線旅客

- 需要喚起策と訪日需要の取り込みで旅客数・収入共に増加。
- 中部ー宮古線を開設。
- エアバスA321neo型機の運航開始。

	前期	当期	増減率(%)
旅客収入 (億円)	6,783	6,897	1.7
旅客数 (万人)	4,296	4,415	2.8
座席キロ*1 (億席キロ)	590	584	△1.1
旅客キロ*2 (億人キロ)	389	402	3.3
利用率*3 (%)	66.0	68.9	2.9

貨物

- 国内線の需要は低調。宅配貨物の取り扱いが減少。
- 国際線は自動車関連部品や電子機器などの日本発貨物、アジア・中国発の日本向け貨物、三国間貨物がいずれも堅調に推移し、輸送重量・収入共に増加。

国内線貨物	前期	当期	増減率(%)
貨物収入 (億円)	308	307	△0.5
有効貨物トンキロ*4 (百万トンキロ)	1,783	1,739	△2.5
貨物輸送重量 (千トン)	451	436	△3.2
貨物トンキロ*5 (百万トンキロ)	459	448	△2.5
貨物重量利用率*6 (%)	27.6	27.7	0.1
国際線貨物	前期	当期	増減率(%)
貨物収入 (億円)	933	1,180	26.5
有効貨物トンキロ*4 (百万トンキロ)	6,583	6,809	3.4
貨物輸送重量 (千トン)	954	994	4.3
貨物トンキロ*5 (百万トンキロ)	4,150	4,474	7.8
貨物重量利用率*6 (%)	65.0	67.9	2.9

※1 座席キロ=有効座席数×各区间距離(キロメートル)
 ※2 旅客キロ=旅客数×各区间距離(キロメートル)
 ※3 利用率=旅客キロ÷座席キロ
 ※4 有効貨物トンキロ=有効(搭載可能)貨物重量(トン)×各区间距離(キロメートル)
 ※5 貨物トンキロ=貨物輸送重量(トン)×各区间距離(キロメートル)
 ※6 貨物重量利用率=(貨物トンキロ+郵便トンキロ)÷有効貨物トンキロ
 ※7 バニラエアとPeachのLCC事業収入、マイルージ帯収入、機内販売収入、整備受託収入等です。

※決算に関する資料は当社ホームページでもご覧になれます。

www.ana.co.jp/group/investors/

ANAホールディングス 株主・投資家情報 検索

国際線旅客

- 堅調なビジネス・訪日需要を取り込み旅客数・収入共に増加。
- 羽田ージャカルタ線、成田ーロサンゼルス線を増便。
- お子様向け食物アレルギー対応機内食の提供開始。

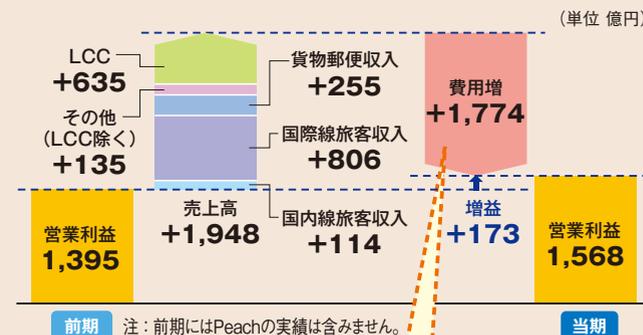
	前期	当期	増減率(%)
旅客収入 (億円)	5,167	5,974	15.6
旅客数 (万人)	911	974	6.8
座席キロ*1 (億席キロ)	601	643	7.0
旅客キロ*2 (億人キロ)	456	491	7.7
利用率*3 (%)	75.8	76.3	0.5

その他の航空事業 (LCC事業等)

- その他の航空事業の収入*7はPeachの収入を加え2,859億円となり前期から36.9%増加。

	バニラエア	Peach
旅客数 (万人)	267	512
増減率 (%)	25.7	-
利用率*3 (%)	85.5	86.9
前期差 (ポイント)	△0.3	-

●航空事業の営業利益変動要因 (前期との比較)



費用増の要因
 ・燃油費・燃料税+270億円
 ・空港使用料、機材費、人件費、外部委託費などの生産連動費用+645億円
 ・販売手数料、広告宣伝費、機内サービス費、地上サービス費などの収入連動費用+165億円
 ・機材以外の減価償却費、整備費等+692億円

2019年3月期の見通し

※金額は、表示単位未満の端数を切り捨てています。

「2018～2022年度 ANAグループ中期経営戦略」を確実に遂行し、1株につき70円の配当を予定

■国内線旅客事業

- 機内Wi-Fiインターネットの無料化。
- 2018年10月より運賃体系を変更。

■国際線旅客事業

- 2018年6月に羽田ーバンコク線を増便。
- 2019年春にホノルル線にエアバスA380型機を導入。

■貨物事業

- 新たな需要を取り込むなど収益基盤を強化。
- 北九州→沖縄線の夜間貨物便を開設し、沖縄貨物ハブ経由で中国・アジアに翌日配送。

■LCC事業

- Peachとバニラエアの統合に向けた準備を推進。

●2019年3月期 連結業績見通し

(単位 億円)	当期実績 (2018年3月期)	次期の見通し (2019年3月期)	増減
売上高	19,717	20,400	682
営業利益	1,645	1,650	4
経常利益	1,606	1,580	△ 26
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,438	1,020	△ 418
1株配当額(円)	60円	70円	10円

●財務指標と配当額の推移



※1 ROE(自己資本利益率) = 当期純利益 ÷ 期中平均自己資本 × 100 (%)

※2 ROA(総資産事業利益率) =

(営業利益 + 受取利息 + 配当金) ÷ 期中平均総資産 × 100 (%)

※3 2017年10月1日に10株を1株とする株式併合を実施。2018年3月期の配当額60円は併合前の6円に、2019年3月期の配当額(計画)は同70円に相当します。

Q & A

最高益を更新したようですが、増配しないのですか。

「2018～2022年度ANAグループ中期経営戦略」に基づき、2020年度までは首都圏空港の再拡張に備えた成長投資を進め、さらなる収益規模の拡大を目指してまいります。

2018年3月期は成長投資を進める中でも、安定的に配当を継続していくという方針のもと、当初の計画通り1株当たり60円とさせていただきます。2019年3月期は1株当たり70円を予定しており、今後につきましては、成長投資から徐々に株主還元を高めていく形で経営資源配分を図りたいと考えております。

経営資源配分の考え方

2016年度 → 2017～18年度 → 2019～20年度 → 2021～22年度

株主還元の上昇

積極的な成長投資

財務基盤の安定

成長投資を継続しつつ、徐々に株主還元の上昇へ

ANA HOLDINGS Data

会社概要

2018年3月31日現在

商号	ANAホールディングス株式会社 ANA HOLDINGS INC.
設立	1952年12月
本社所在地	東京都港区東新橋一丁目5番2号
資本金	3,187億8,942万6,788円
従業員数	170人 (グループ従業員数 41,930人)

役員

2018年6月28日現在

取締役会長	伊東 信一郎
取締役副会長	篠辺 修
代表取締役社長	片野坂 真哉
代表取締役 副社長執行役員	長峯 豊之
取締役 執行役員	石坂 直人
	高田 直人
	平子 裕志
	森 詳介(社外取締役)
取締役	山本 亜土(社外取締役)
	小林 いずみ(社外取締役)
	大川 澄人(社外監査役)
	殿元 清司
常勤監査役	長谷川 昭彦
	松尾 新吾(社外監査役)
	小川 英治(社外監査役)
上席執行役員	芝田 浩二
	菅原 貴与志
執行役員	福澤 一郎

株式の状況

2018年3月31日現在

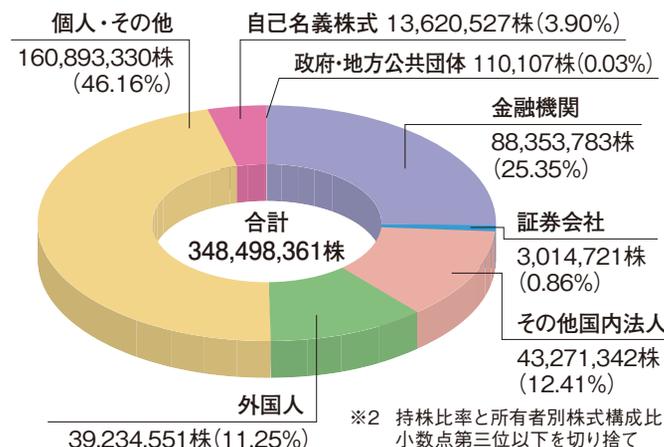
発行可能株式総数	5億1,000万株
発行済株式総数	3億4,849万8,361株
株主数	475,978名(2017年9月末より8,544名減)

●大株主(上位10名)

株主名	所有株式数※1	持株比率※2
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	15,051千株	4.31%
ANAホールディングス株式会社	13,620千株	3.90%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	11,261千株	3.23%
名古屋鉄道株式会社	7,313千株	2.09%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	7,092千株	2.03%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口1)	5,274千株	1.51%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口2)	5,183千株	1.48%
東京海上日動火災保険株式会社	4,039千株	1.15%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口7)	4,020千株	1.15%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,788千株	1.08%

※1 千株未満切り捨て

●所有者別株式の状況※2



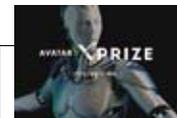
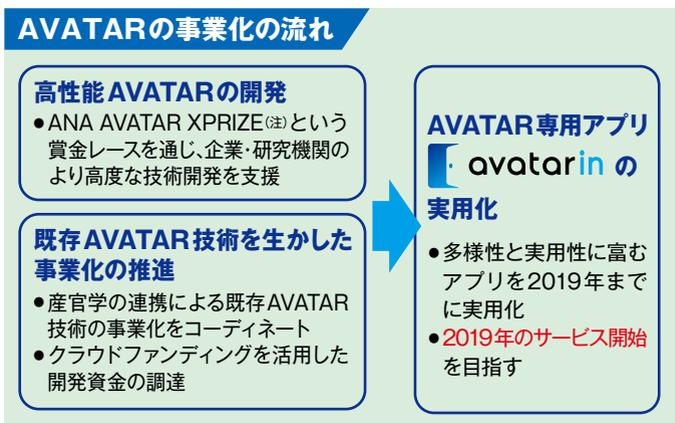
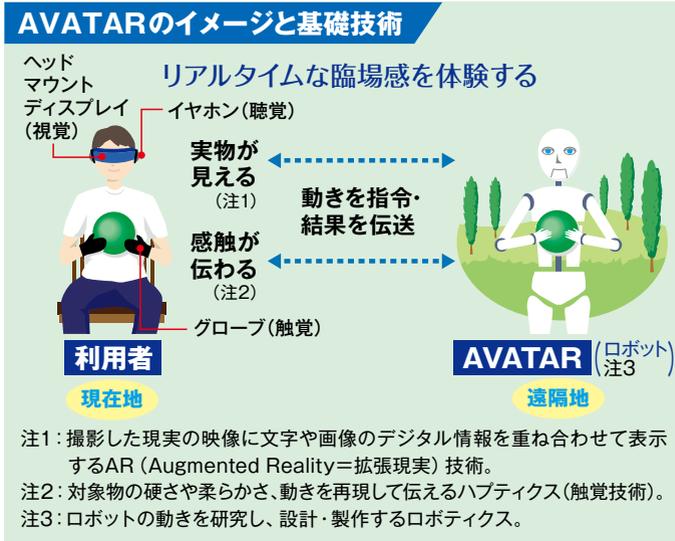
瞬時に世界中に移動できる「AVATAR」(アバター)の事業化を目指す

AVATARとは

人間そのものが瞬時にして世界中に移動することは、現在の技術では不可能です。しかし、人間の「意識」「技能」「存在感」を遠隔地に瞬時に移動させ、そこに配置したロボットを介して、実際に作業を行ったり、遠隔地の人とコミュニケーションを図ったりすることは技術的には可能になってきました。航空機による移動サービスを提供しているANAでは、人が実際に移動しなくても遠くのものを見て「見て」「聞いて」「触る」ことができるロボットであるAVATARを新たな移動手段として開発しています。

AVATARが切り開く未来

医師がAVATARを操作すると、AVATARが医師になり、エンジニアが操作するとエンジニアになる。AVATARを使い、「瞬間移動」して行動することで、さまざまな社会問題の解決も可能になります。ANAのAVATAR事業は2019年よりサービスを開始し、広く社会に貢献する事業として成長を目指します。



注: ANA AVATAR XPRIZE XPRIZE (エクス・プライズ) とは、同名の非営利団体が、世界が直面する課題解決に役立つテクノロジーの開発を試みる企業・研究機関等に対して行う賞金レースです。今回、遠隔地でさまざまな行動ができる AVATAR の事業化を目指す当社のコンセプトが、その賞金レースのテーマに選ばれました。

AVATAR



新領域でビジネスを生み出す デジタル・デザイン・ラボ

ANAホールディングス株式会社
デジタル・デザイン・ラボ チーフ・ディレクター
津田 佳明



デジタル・デザイン・ラボはANAのDNA (チャレンジ精神) をしっかりと受け継ぎながら、航空会社の枠組みにとらわれることなく、これまでにない発想で新たなビジネスやサービスを生み出すために設立された組織です。「攻めのスピード経営」を実践し、AVATAR事業のほかにも宇宙事業、ドローン事業など、新領域でのビジネス発掘に取り組んでいます。

飛行機に乗れない子どもたちも AVATARで世界へ



ANA AVATAR
プログラム・ディレクター
深堀 昂



ANA AVATAR
共同ディレクター
梶谷 ケビン

当社が提案した「瞬間移動」は、2016年にXPRIZE財団の国際賞金レースのテーマに採用され、世界の頭脳が技術的課題に挑戦しています。今や、AVATARへの関心は高く、各方面からコラボレーションの申し出を頂き、事業化に向けての手ごたえを感じています。飛行機を利用している人は世界ではまだ6%ほど。AVATARを活用して世界中の人をつなぎたいという思いがこの事業にあります。何らかの理由で飛行機に乗れない人や子どもたちが、AVATARを利用して世界に飛び出してほしいと思います。

詳しくは「ANA AVATAR VISION」をご覧ください。
<https://ana-avatar.com/>

ANAホールディングス

●ビジネスジェットをもっと身近に!

ANAホールディングスは3月28日、総合商社・双日と共同でビジネスジェットを活用したチャーター便手配事業への参入を発表しました。ANAの北米・欧州路線からの乗り継ぎサービスや日本から直接目的地に渡航するビジネスジェット・チャーター便を手配します。また、ビジネスジェット機を製造するホンダ エアクラフト カンパニーとの戦略的パートナーシップの提携も発表しました。



小型ビジネスジェット機 HondaJet

サービスイメージ



ANA

●NCAとの戦略的業務提携に合意

ANAは2月26日、日本貨物航空(NCA)と両社のサービス向上と企業価値を高めるための戦略的業務提携に合意したことを発表しました。共同運航(コードシェア)による両社の貨物スペースの有効活用や、ANAが運航するボーイング767型貨物専用機、ボーイング777型貨物専用機(2019年度導入予定)とNCAが運航するボーイング747型貨物専用機による円滑な接続輸送などでサービスの向上を目指します。



日本貨物航空ボーイング747型貨物専用機



ANAボーイング767型貨物専用機

羽生結弦選手連覇! 応援ありがとうございました

国民栄誉賞受賞内定

2月に開催された平昌2018冬季オリンピックでは、羽生結弦選手(ANA所属)がフィギュアスケート男子シングルで金メダルを獲得し、ソチ2014冬季オリンピックに続き連覇を果たしたほか、高梨沙羅選手がスキージャンプ女子ノーマルヒル個人で銅メダルを獲得し、床亜矢可選手(ANA社員)がアイスホッケー女子で、菊池悠希選手(ANA社員)がショートトラック女子3,000mリレーで、それぞれ6位に入賞しました。3月に開催された平昌2018冬季パラリンピックでは、村岡桃佳選手がアルペンスキー女子ジャイアントスラローム(座位)で金メダルを獲得したほか、銀メダル2個、銅メダル2個を獲得しました。株主・投資家の皆様からの応援に心より感謝いたします。ありがとうございました。

※ANAは、JOC・JPCオフィシャルエアラインパートナーです。



連覇を果たした羽生結弦選手を囲んで

「ANA Blue Academy ミライつく〜る」—子どもたちの未来を切り拓く力を応援

「ANA Blue Academy ミライつく〜る」は、小学5・6年生を対象にANAグループのパイロット、客室乗務員、整備士、グランドスタッフ、グランドハンドリングスタッフが講師を務めるキャリア教育プログラムです。これは、子どもたちが仲間と

協力し、課題を解決しながらANAグループの仕事を学ぶ出張授業で、2020年度より全面導入される新学習指導要領に沿ったものです。2018年度末までに全国47都道府県の小学校で実施していきます。



講師を務めたANAグループ社員



グランドスタッフによる手荷物預かりタグ付け体験



整備士による飛行機の部品を使った作業点検体験

ANAグループは各方面から高い評価を頂いております

—「なでしこ銘柄」に選定、世界最高評価「5スター」を獲得、「エアライン・オブ・ザ・イヤー 2018」を受賞

ANAグループは経済産業省と東京証券取引所から3月22日に女性活躍推進に優れた企業として「なでしこ銘柄」に、同じく5月30日にはITの積極的活用に取り組んでいる企業として「攻めのIT経営銘柄2018」にそれぞれ選定されました。

また、3月26日には航空会社の格付けを行う英国スカイトラックス社から世界最高評価「5スター」の認定を受けるとともに、翌27日には米国エア・トランスポート・ワールド誌から「エアライン・オブ・ザ・イヤー2018」に選ばれました。



なでしこ銘柄認定式



攻めのIT経営銘柄認定マーク



「5スター」認定証



授与式で表彰を受ける平子裕志ANA代表取締役社長(右)

国際線

(旅客便+貨物便)

■路線数 85路線

■運航便数 1,356便/週

●ANA便就航都市

--- 貨物便のみ運航路線

※提携他社とのコードシェア便および、LCC運航便は含まれません。



目的都市への運航便は、下記よりお調べいただけます。
 旅客便 <http://www.ana.co.jp/book-plan/airinfo/>
 貨物便 <http://www.anacargo.jp/ja/>

国内線

(旅客便+貨物便)

■路線数 138路線

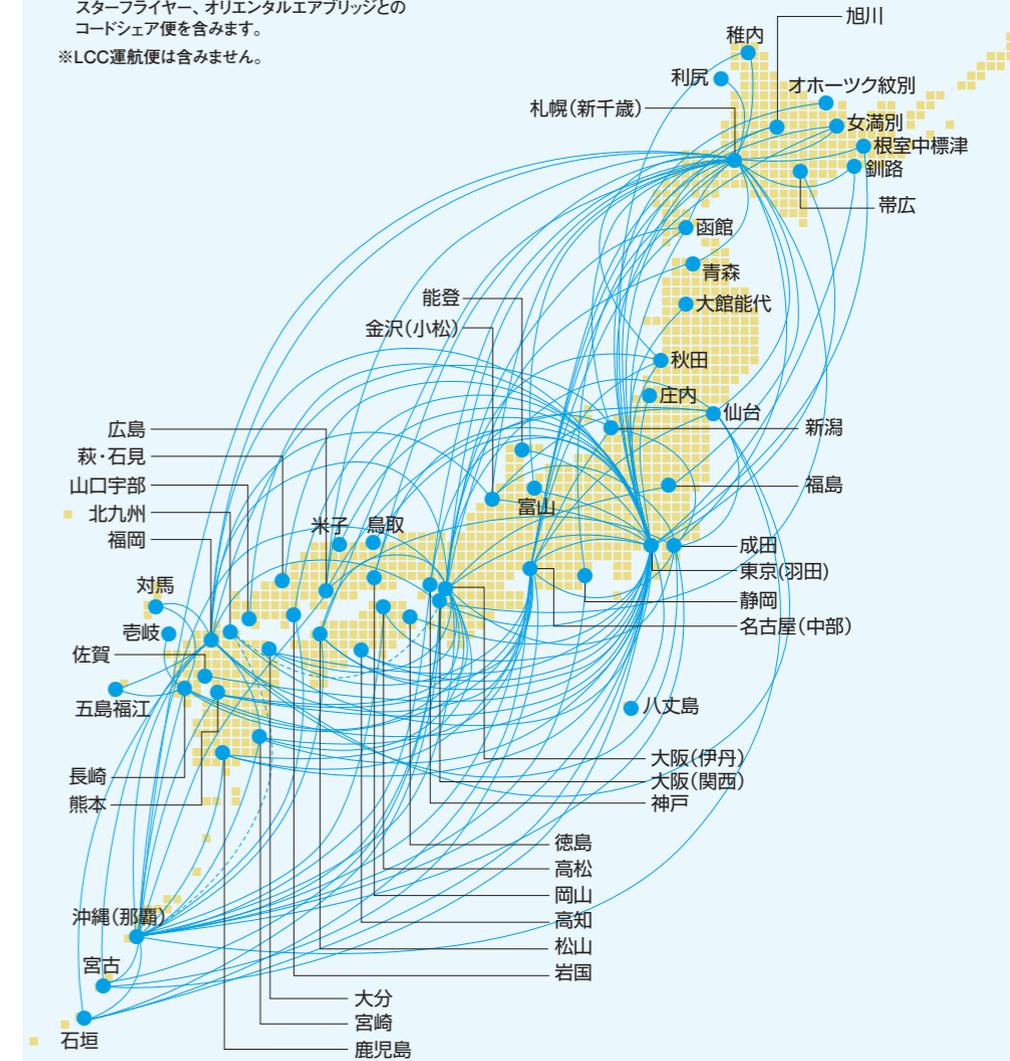
■運航便数 1,082便/日

●ANAグループ便就航都市

--- 貨物便のみ運航路線

※IBEXエアラインズ、エア・ドゥ、ソラシド エア、スターフライヤー、オリエンタルエアブリッジとのコードシェア便を含みます。

※LCC運航便は含まれません。



※コードシェア(路線提供)とは、提携会社の運航する便に自社の便名(コード)を付与することで、利便性の高い路線ネットワークを提供するものです。

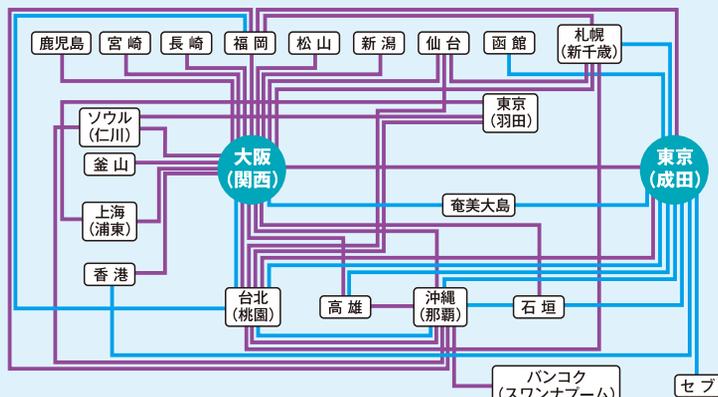
Peachとバニラエアを経営統合し、アジアのリーディングLCCを目指します

ANAグループのLCC事業会社であるPeach・Aviation株式会社とバニラ・エア株式会社は、2019年度末を目途に経営統合することを決定しました(統合後の名称はPeach・Aviation株式会社を予定)。

この統合により、2020年以降50機を超える機材で国内線・国際線を合わせて50路線以上を運航するLCCが誕生。さらに2020年を目途に中距離LCC領域に進出し、成長するアジアの需要を積極的に取り込んでまいります。2020年度の売上高は1,500億円、営業利益は150億円規模という目標を掲げ、アジアを代表するリーディングLCCを目指します。

LCC Network (2018年7月1日予定)

Peach — バニラエア —



Peach

エアバスA320-200型機
機材数：20機※
国内線：15路線 国際線：15路線



バニラエア

エアバスA320-200型機
機材数：15機※
国内線：7路線 国際線：7路線

※2018年3月31日現在

ANA's Aircraft 空を演出するフリート

●ボーイング777-300 (29機)

全幅60.9m (-300ER 64.8m)・全長73.9m・全高18.5m
航続距離3,800km (-300ER 14,900km)
座席数514席 (-300ER 212席/250席/264席)



●ボーイング777-200 (21機)

全幅60.9m・全長63.7m・全高18.5m
航続距離3,800km (-200ER 14,500km)
座席数405席 (-200ER 223席/306席)



●ボーイング787-9 (28機)

全幅60.1m・全長62.8m・全高17.0m
航続距離10,690km/14,960km
座席数215席/246席/395席



●ボーイング787-8 (36機)

全幅60.1m・全長56.7m・全高16.9m
航続距離4,890km/12,020km/14,800km
座席数169席/240席/335席



●ボーイング767-300 (34機)

全幅47.6m (-300ERW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離3,370km (-300ER 10,030km/10,820km)
座席数270席 (-300ER 202席/214席)



●ボーイング767-300F/300BCF (12機) (貨物専用機)

全幅47.6m (-300FW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離5,970km (-300F) / 5,750km (-300BCF) (最大積載時)



●ボーイング737-800 (36機)

全幅35.8m・全長39.5m・全高12.5m
航続距離3,900km
座席数166席/167席



●ボーイング737-700 (7機)

全幅35.8m・全長33.6m・全高12.5m
航続距離4,900km
座席数120席



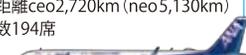
●ボーイング737-500 (14機)

全幅28.9m・全長31.0m・全高11.1m
航続距離2,780km
座席数126席



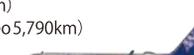
●エアバスA321ceo (4機)/neo (2機)

全幅35.8m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離ceo2,720km (neo5,130km)
座席数194席



●エアバスA320-200 (42機)※/neo (3機)

全幅34.1m (neo35.8m)・全長37.6m・
全高11.8m (neo12.1m)
航続距離2,380km (neo5,790km)
座席数166席/180席
(neo146席)



●ボンバルディアDHC8-400 (24機)

全幅28.4m・全長32.8m・全高8.3m
航続距離2,020km
座席数74席



※エアバスA320-200型機にはバニラエア・Peachの運航機材35機を含みます。

合計 292機

(2018年3月31日現在)

上記のほか、当社が所有および賃借している航空機でグループ外へ賃貸している航空機が18機あります。なお、航続距離は最新の性能データによるものです。

ANAの国内線運賃がリニューアルします

※国内線運賃リニューアルの詳しい内容は下記でご覧いただけます。
<https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/promotions/special-info/fare2018/>

■主な変更点のポイント

ポイント① 国内線運賃のリニューアル

2018年10月28日(日)ご搭乗分より、生まれ変わります。

変更前	変更後
片道運賃 往復運賃	「ANA FLEX(フレックス)」に変更  <ul style="list-style-type: none">●便ごとの空席予測数に連動して、A、B、C、Dのいずれかの運賃額が適用される運賃です。●急な日程変更の際にも予約変更できる従来の「片道運賃」「往復運賃」のメリットに加え、混雑期のご搭乗であっても、早めのご予約でおトクにご利用いただけます。

特割 → **ANA VALUE(バリュー)**

旅割 → **ANA SUPER VALUE(スーパーバリュー)**

に運賃名称を変更し、リニューアルします。

ポイント② 販売期間の拡大

現在、ご搭乗日2カ月前の9:30から予約・販売を開始する各種運賃について、**2018年9月3日(月)ご予約・ご購入分より**、販売期間をご搭乗日**355日前の9:30**から注1に拡大します。

注1: ANA VALUE、ANA SUPER VALUE、特典航空券(注2)等、上記と販売期間が異なる運賃もございます。

注2: ANAマイレージクラブで貯めたマイルを交換した無料航空券のことです。

ポイント③ 航空券ルールの変更

2018年7月1日(日)ご購入分より、予約変更できる航空券の**有効期間を購入日から1年間**に拡大します。

「株主優待制度の一部変更」について

本件に関しましては、2018年5月にお送りした株主優待に同封したチラシをご覧ください。

上記の国内線運賃リニューアルに伴い、株主優待制度の一部を以下の通り、変更いたします。

変更内容

■「株主優待割引運賃」販売期間

2018年9月3日(月)ご予約・ご購入分より、ご搭乗日**355日前の9:30**からご予約・ご購入いただけます。

(例:2018年9月3日には、2019年8月24日ご搭乗分までの航空券をご予約・ご購入いただけます)

ただし、2018年8月28日から同年9月2日までの期間は、2018年11月2日ご搭乗分までの航空券をご予約・ご購入いただけます。

■株主優待割引運賃

2018年10月28日(日)ご搭乗分より、片道運賃の50%割引から**ANA FLEX運賃(空席連動型運賃)**の最安値である**ANA FLEX-D運賃の50%割引**に変更します。

■株主優待割引運賃用の座席数

2018年10月28日(日)ご搭乗分より、旧盆や年末年始、ゴールデンウィーク、三連休等以外の日程であっても、予約率が高い便については、ご予約が取りづらくなる場合がございます。お早めにご予約ください。

座席数に上限を定めさせていただく期間(2018年10月27日(土)まで)は本誌17ページをご覧ください。

※株主優待番号ご案内書の有効期間は従来通り「**搭乗可能期間**」です。株主優待割引運賃をご利用の際には、**搭乗日に有効な株主優待番号ご案内書が必要**ですのでご注意ください。

ANAの株主優待サービス

発行基準日*	発送日	①国内線ご搭乗優待	②ANAグループご優待
3月31日	5月中旬 発送	株主優待番号 ご案内書 有効期間6/1~翌年5/31	ANAグループ優待券 上期分 有効期間6/1~11/30
9月30日	11月中旬 発送	株主優待番号 ご案内書 有効期間12/1~翌年11/30	ANAグループ優待券 下期分 有効期間12/1~翌年5/31

※株主優待発行基準日

- 新規に株式をご購入される方は、発行基準日を含め4営業日前までに証券会社でご購入手続きをお済ませください。
次回(2018年11月発行分)は、**2018年9月25日(火)**が権利付最終日となります。
- 複数の証券会社をご利用の場合、届出住所と株主名が同一であれば、お一人の株主様として所有株式を合算(名寄せ)した上で取り扱いいたします。

1 国内線ご搭乗優待

100株以上ご所有の株主の皆様へ、ANAの国内全路線でご利用になれる**株主優待番号ご案内書**を下記の発行枚数表に記載の通り発行いたします。

株主優待番号ご案内書発行枚数表 (1枚未満の端数は切り捨て)

ご所有株式数	【発行基準日 3月31日】 5月中旬発送 6/1から翌年5/31まで有効	【発行基準日 9月30日】 11月中旬発送 12/1から翌年11/30まで有効
100株~199株	1枚	1枚
200株~299株	2枚	2枚
300株~399株	3枚	3枚
400株~999株	4枚+400株超過分 200株ごとに1枚	4枚+400株超過分 200株ごとに1枚
1,000株~99,999株	7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚	7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚
100,000株~	254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚	254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚

インターネットからもご覧いただけます。

ANAホールディングス 検索 → 株主・投資家情報 → 株式情報 → 株主 優待のご案内

【2018年10月27日(土)ご搭乗分まで】

株主優待番号1つにつき、ANAの国内全路線の片道1区間が、「株主優待割引運賃」(片道運賃の50%割引、小児の場合は小児運賃*の50%割引)でご利用いただけます。

●「プレミアムクラス」をご利用の場合は、普通席の「株主優待割引運賃」に所定金額の追加が必要です。

●ご予約・空席状況・運賃等に関しては、予約・案内センターまたは、ANAウェブサイトにてご照会ください。

※搭乗日の年齢が満3歳~11歳のお子様を対象です。



株主優待割引運賃の座席数に関するお知らせ

座席数に上限を定めさせていただく期間(2018年10月27日(土)ご搭乗分まで)は以下の通りです。

	特にご予約が取りづらくなる期間	
	便名が奇数の便	便名が偶数の便
2018年 7/13~7/16	7/14	7/16
8/9~8/19	8/10~8/12	8/15~8/18
9/14~9/17	9/15	9/17
9/21~9/24	9/22	9/24
10/5~10/8	10/6	10/8

※ご予約状況等により、上記期間を変更させていただく場合がございます。

2018年10月28日(日)ご搭乗分から、国内線運賃のリニューアルに伴い、株主優待制度が一部変更となります。詳細は本誌16ページをご確認ください。

ANAの株主優待サービス Q&A

Q 株主優待サービスを利用したいのですが、いつまでに株式を購入すればいいですか?

A 新規に株式を購入される方は、発行基準日(3月31日、9月30日)を含め4営業日前(権利付最終日)までに、ご購入手続きをお済ませください。

Q 株主優待番号ご案内書はコードシェア便でも使えますか?

A ANA国内線運航便のほか、エア・ドゥ(ADO)、IBEXエアラインズ(IBX)、ソラシド エア(SNA)、スターフライヤー(SFJ)、オリエンタルエアブリッジ(ORC)が運航するANA便名のコードシェア便もご利用いただけます。

Q 株主優待番号ご案内書は国際線に使えますか?

A 国際線のご搭乗にはご利用いただけません。

2 ANAグループご優待

2018年3月31日・9月30日に株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に、お一人様1冊、**ANAグループ優待券**を発行いたします。



■IHG・ANA・ホテルズグループジャパンのご優待

- ご宿泊料金(ベストフレキシブル料金(室料のみ)の20%割引券6枚)
 - レストラン・バーご飲食代(10%割引券5枚)
 - ご婚礼のご飲食代(10%割引券1枚)
 - 会議・一般ご宴会室料(15%割引券3枚)
- 東京予約センター ☎0120-029-501
(平日・土・祝 9:00~20:00/日 休)

■海外・国内旅行

パッケージツアー商品のご優待

- ANAスカイホリデー(国内ツアー)
 - ANAハローツアー(海外ツアー)
 - ANAワンダーアース(海外ツアー)
- (上記ツアー共通7%割引券6枚)



■空港内売店・免税店のご優待(10%割引券5枚)



ANA FESTA



ANA DUTY FREE SHOP

■株主様限定通信販売

詳細は「ANAグループ優待券」の冊子をご覧ください。



アロマオイル

リュック

夢空(霧島高原ビール)

飛行機カヴァ

■ゴルフプレー料金のご優待

- 「武蔵の杜カントリークラブ」(埼玉)(割引券4枚)
- 「早来カントリー倶楽部」(北海道)(割引券3枚)

*なお、ここに記載した「ANAグループ優待券」の内容は2018年上期発行のものであり、今後変更になることもございます。

2018年度スケジュール(予定)

※下記のスケジュールは変更になる場合があります。

決算、基準日、株主の皆様へのご送付物など			
2018年	4月	27日	■2017年度(2018年3月期)決算発表
	5月	11日	◆2018年3月末に100株以上所有の株主様対象「上期発行株主優待」のご送付(発送済) ①株主優待番号ご案内書(有効期間2018年6月1日~2019年5月31日) ②ANAグループ優待券(有効期間2018年6月1日~2018年11月30日)
	6月	7日	◆2018年3月末に100株以上所有の株主様対象「定時株主総会招集ご通知」のご送付(発送済)
		28日	■第73回 定時株主総会 ◆2018年3月末の全株主様対象 第73回 定時株主総会決議ご通知 ANA VISION(第68期のご報告)ご送付(発送済)
		29日	■期末配当金の支払開始日
	7月	下旬	■2018年度(2019年3月期)第1四半期決算発表
	8月	下旬	◆ANA VISION(第69期第1四半期のご報告)ホームページに掲載
	9月	中旬	■単元未満株式買増請求受付停止期間(9/12~9/28)
		下旬	■単元未満株式買取請求受付停止期間(9/25~9/28)
	11月	30日	■株主優待発行基準日(株主優待割当確定日) ※新規購入の場合、9/25が権利付最終日
下旬		■2018年度(2019年3月期)第2四半期決算発表 ◆2018年9月末に100株以上所有の株主様対象「下期発行株主優待」のご送付 ①株主優待番号ご案内書(有効期間2018年12月1日~2019年11月30日) ②ANAグループ優待券(有効期間2018年12月1日~2019年5月31日) ◆2018年9月末の単元未満株主様対象 ANA VISION(第69期第2四半期のご報告)ご送付 ◆2018年9月末に100株以上所有の株主様対象 2019年版 ANAカレンダー・ANA VISION(第69期第2四半期のご報告)ご送付	
2019年	1月	下旬	■2018年度(2019年3月期)第3四半期決算発表
	2月	下旬	◆ANA VISION(第69期第3四半期のご報告)ホームページに掲載
	3月	中旬	■単元未満株式買増請求受付停止期間(3/14~3/29)
	下旬	■単元未満株式買取請求受付停止期間(3/26~3/29)	
	31日	■期末配当金受領確定日 ■株主優待発行基準日(株主優待割当確定日) ※新規購入の場合、3/26が権利付最終日	

株主メモ

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
■ 定時株主総会	毎年4月1日から3カ月以内に開催
■ 基準日	定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金受領確定日 毎年3月31日 ※中間配当金制度は採用しておりません。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 株主優待割当確定日 毎年3月31日および9月30日
■ 単元株式数	100株
■ 公告の方法	当社のホームページに掲載します。 ANAホールディングス <input type="text" value="検索"/>
■ 証券コード	9202

■ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■ 株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
■ 郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
■ 電話照会先 (通話料無料)	 0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・祝 12/31~1/3休)
■ ホームページ	<input type="text" value="三井住友信託銀行証券代行部"/> <input type="button" value="検索"/>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上に記載の電話照会先までご連絡ください。

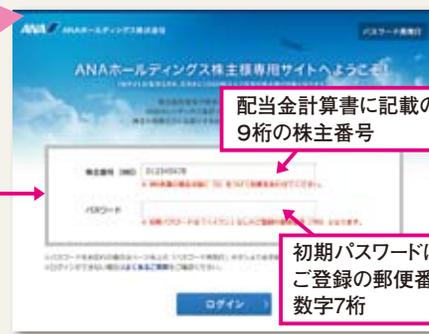
「株主様専用サイト」にご登録はお済みですか？

100株以上ご所有の株主様を対象に、「株主様専用サイト」を開設しています。ご登録いただきますと各種お知らせやおトクな情報などをタイムリーにメール配信いたします！
既にご登録されている株主様は、改めてのご登録は不要です。

ANA 株主・投資家情報



●「株主様専用サイト」をクリック



●株主番号・パスワードを入力してログイン

<https://sh.anahd.co.jp>

ANAホールディングス株式会社 www.ana.co.jp/group/

ANAホールディングス

〒105-7140 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター

コーポレートコミュニケーション室 グループ総務部 株式チーム

電話03-6735-1001 (受付時間 平日 9:00~12:00/13:00~17:00/土・日・祝・12/29~1/3・5/1 休)

本冊子は環境に配慮した用紙、インクを使用しています。

